

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスクむさしうらわ保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	木越 由美子	定員(利用人数)：	60 (59) 名
所在地：	〒 336-0021 埼玉県さいたま市南区別所7-1-12	TEL	048-872-8107

③評価実施期間

平成27年 8月 1日(契約日)～平成28年 3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○職員が目線に立った施設づくり、環境づくりが進められている
今年度開設の新園のため、生活しやすい設計、材質、色彩等に繊細な配慮がされている。法人の運営理念でもある「安全・安心」と「職員が楽しく働けること」が感じられる施設となっている。限られた立地条件ではあるが、そこで生活する子どもにとって快適な生活を保障するとともに、職員が働きやすい職場への努力が窺える。保育室の教材・玩具収納棚、持ち物の整理棚、絵本立て等の調度品は材質も良く落ち着いた色で、長時間、長期間生活する子どもが疲れにくく、安定して過ごせ、子どもの姿、衣服、持ち物、玩具等と調和している。広くはないが更衣室を談話スペースとし、緊張をほぐす場として活用している。教材倉庫を設置し、絵本、紙芝居、色紙、色画用紙整理棚等が内容別に整理され、保育室に教材が放置されることなく整理整頓が行き届いている。

○中長期計画に掲げた地域交流の推進は今年度の課題に設定され郵便局の敷地内と言う立地条件を活用した取り組みが行われて成果を上げている

<5年長期計画目標>には「地域の子育ての根拠地となる保育園（地域に溶け込み、教育・遊びを通じた体験をさせ生活力を付ける）」が掲げられ、平成27年度は「①小学校と就学に向けての話し合いの場を設ける、②郵便局との関わりから、地域のつながりを広げる、③清掃活動（散歩時にゴミを拾う）」を具体的な活動内容と設定した。①の課題は「平成27年度小学校連携事業年間計画」に基づいて小学校との連携が図られ、②については郵便局イベント参加等、様々な交流が始まっており、③についても都度の散歩時に実施されている。目標を明確にし、そのために何をするのが明示されたことで実施状況の評価を的確に行うことができ、具体的な成果を上げている。

◇特にコメントを要する点

○園庭の有効活用について協議し、園の考え方を保護者に知らせる努力を望みたい
 郵便局の敷地内の駐車場に隣接して建てられた定員60人の小規模保育園である。園舎の南面は陽の当たる園庭で、園児は毎朝体操をし、季節のうたを歌う集会を持ち、各クラスの戸外活動が展開されている。今年度園庭を使って運動会を行った。当初は狭いことに対する保護者からの不満もあったが、終了後のアンケートでは子どもたちの姿がよくみられ、職員の工夫に見方が変わったとの意見も聞かれた。また、園庭への遊具の設置希望もあるが、利用人数や危険度などを勘案すると慎重にならざるを得ない。子どもたちの運動機能促進のための遊具の導入をはじめ、園庭の有効利用について園内で協議し、考え方を明確にして保護者の納得を得る方法の工夫を期待したい。

○行事アンケートでは保護者から要望・意見が寄せられており、集計のフィードバックだけではなく園としての対応などについても表明することを期待したい
 行事実施後は都度、保護者に意見・感想等を求めるアンケートが実施されている。保護者からは熱心な要望・意見が多数寄せられ、「行事アンケート保護者からのご意見」として文書化され保護者にフィードバックされている。しかし、様々な意見や要望を園がどのように集約し、どのように対応するのかについては述べられていない。開設間もなく、これまでの園と保護者双方の相互理解の実績が浅い状況を考慮し、コンセンサス形成の貴重な機会との観点から、行事アンケート結果、個別に把握した保護者の意見や要望、利用者調査結果等については、都度、速やかに園としてはどのように考え、どのように対応するのかについて、明確な形で表明し周知することが望まれる。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

平成27年度より開園し、初めての第三者評価でしたがアスクむさしうらわ保育園の良い点、今後の課題点を表面化でき、把握する良い機会となりました。
 新規に開園し若いスタッフが多い中、試行錯誤しながら、協力体制を築きながら日々の保育を進めています。今後、より一層の連携を図りながら、利用者との距離を縮めていきたいと考えております。戸外活動や行事等、今後の課題も多くありますがひとつずつ丁寧に向き合い、充実していくことができるように取り組んでいきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり